



京都部 部長主題	United by YMCA ～YMCAで、ひとつになる～	京都部部長 石倉 尚(京都キャピタル)
西日本区理事主題 スローガン	原点を知り将来に生かす 立ち上がれワイズモットーと共に	西日本区理事 田上 正(熊本むさし)
国際会長主題 スローガン	Let Your Light Shine 「輝かそう、あなたの光を」 Good Communication Is the Cornerstone in Every Cooperation「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」	国際会長(IP) Ulrik Lauridsen(デンマーク)
アジア太平洋地域会長主題 スローガン	Elegantly Change With New Era 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」 Do it Right Now「今すぐ実行を」	アジア太平洋地域会長(AP) Chen Ming Chen(台湾)

さあ～！次へ！

京都部部長 **石倉 尚** (京都キャピタルワイズメンズクラブ)



今期もいよいよゴールが近づいてきました。期の終わりを迎えるに当たり、あとへ何を引き継げばよいのか？と思いを考えました。

期の始まりのころは、部長公式訪問から京都部部会の開催、他部会への参加、ワイズデーと足早に過ぎていき、次のことなど考える余力もなく、慌ただしく時間が過ぎていきました。また、今期は幸せなことに京都ブラッククラブ、沖縄クラブ、沖縄新風クラブと3つのクラブが新たに誕生しました。周年を迎えたクラブも4クラブあり、桜の咲くころにようやく、ゆったりとした時を持つことが出来るようになりました。

この京都部部長という立場で苦心したこと、考えさせられたことを次期以降のお役目の方が、少しでも悩まずに京都部を前に進めるための一助になればと思いました。

その1 歴代部長より「イシクラ君、BF代表京都に迎えるのたいへんやでえ～」11月の紅葉のシーズン真っ只中の週末にBF代表が2泊3日で入浴される…結局、中止になったものの何の準備もないので「BF代表受け入れ準備金」を会計に繰り入れる！

その2 部則の会計細則第4条に「チャーター祝金を贈ることができる」と、え！いくら？過去の資料を探ってはみたものの判りませんでした。…で、役員会で検討し10万円と承認を得る！

その3 次期部長が開催する「次期準備役員会」の会議費、部で開催する「次期会長主査研修会」は、次期の予算に計上されていたので…今期の予算に計上！

その4 部則では、次々期部長の選任は、「立候補者がいない場合は、輪番制の原則に基づき」とあるが、パスありの輪番？なんでもOKでは、この先…「どうする？部長」となるので…。輪番制について役員会で検討し、細則を制定！

と、十分ではありませんが、今期、困ったこと悩んだことに対して方向を見極める少しの指針になれば！と思います。あっ！あと一つ大事なことが…。

その5 西日本区事務所へ提出する「半年報」特に7月に提出する「前期半年報」これはなかなかのモノです。提出期日は厳守です！…これは…がんばってください！各クラブから正確な情報提供が必須です！確約はできませんが、お手伝いします…。

結びに、キャピネットをはじめ部の役員、在京クラブの皆様には、大変お世話になりました。お陰さまで第27代京都部部長のお役目を全うすることができました。

部長標語に追記します。

「私たちは、YMCAでひとつになり、それぞれのクラブでワイズメンとして大いに活動し、人生を豊かにしよう！」

本当に、ありがとうございました。

今期を終えて 部役員



京都部次期部長 武村 松一
京都ウイングワイズメンズクラブ

まずもって石倉部長、一年間お疲れ様でした。役員の皆様も大変お疲れ様でした。多少の日程変更等ありましたが、コロナによる中止等も最小限に収まり、ほぼすべての行事・活動が滞りなく開催されましたこと、喜ばしいことでした。私ども次期役員も、7月より「次期」の文字が外れます。昨年12月より随時準備をしておりましたが、ついに28期が始まるんだ、という「期待」と「不安」が交錯しております。まず公式訪問から始まり、京都部部会・ワイズデー・各チャリティと目白押しに行事が続きます。今のところコロナの影響もあまり心配する状況にはございませんが、どういう方向になろうと、この1年間「次期」部長として経験・勉強させていただいたことを存分に28期に生かし、京都部500余名全員に「今期はおもろかったなあ」と言っていただけよう精進いたしたいと思います。

「皆さ～ん！ よろしくお願いいたしま～す」



京都部直前部長・京都部監事 中村 隆司
京都ウェルワイズメンズクラブ

在京ワイズメンの皆様いつもお世話になっております、京都部直前部長兼監事の京都ウェルクラブ中村隆司です、石倉部長、並びに三役、役員の皆様、一年間本当にお疲れ様でした。そして各クラブ会長、メンバーの皆様、今期も一年間ワイズ活動にご尽力を頂き心から感謝申し上げます。長期間に渡りコロナ禍に苦しめられ、暫くは思うようなワイズ活動が出来ませんでした。今期はようやくコロナ禍も終息の気配となり、各クラブにおかれましても様々な事業をそれなりに実施する事が出来、また自クラブのメンバー間の親睦交流は勿論ですが、クラブの垣根を越えて、他部や他区の皆様ともDBC、IBCも含め、久々にワイズの醍醐味を満喫されたのではないのでしょうか。

私自身、京都部の役を仰せつかり4年目の期でしたが、やっと思存分飛び回る事が出来たような気がします。次期がラストイヤーとなりますので、微力ではありますが武村部長の縁の下の力持ちとなり、そして私自身引き続き楽しみたいと思います！



京都部統括担当主事 藤尾 実
京都YMCA

2022年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、過去2年間で中止や、オンラインでの開催となったイベントが少しずつ、感染防止策を取りながらリアルに開催できるようになりました。インターナショナル・チャリティーラン、国際協力街頭募金、チャリティーバザーなどを多くのワイズメンズクラブメンバーのみなさまに支援いただき、久しぶりに開催することができました。

また、リトリートセンターの維持管理ワークや新しいキャンプ地である旧神崎小学校開設準備、撤収ワーク、リトリートセンターフェスタ運営など、京都YMCAの諸活動に多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

また、YYYフォーラムではユースボランティアリーダー OB、OGに焦点を当ていただき、YMCAが行っている青少年の育成について、多くのワイズメンズクラブメンバーに知っていただく貴重な機会を与えていただきました。

他にも様々な場において、YMCAの活動をワイズメンズクラブ各クラブのみなさまが、いつも担っていただいております。

2021年度より進めています「京都YMCA中期計画(2021-2023年度)」が、最終年度を迎え、“ホップ・ステップ・ジャンプ”の“ジャンプ”の年になります。今後とも、ワイズメンズクラブのみなさまとともに飛躍の1年となりますよう、引き続きご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。



京都部書記 田中 雅博
京都キャピタルワイズメンズクラブ

皆さまお疲れさまでした。有難うございました。

長かったようで、あっという間に過ぎ去ったこの1年と半年。皆さまとともに仕事ができ、また多くの京都部のワイズメンと交流することができ、とても楽しく、有意義な時間でした。

書記として、主に議事録などの資料の作成に携わってきました。文献として資料を保存すること、メンバーの皆様に分かりやすくお知らせすることに力を置いてきましたが、少しはその目標に近づけたかと思っています。

そしてもう一つ、石倉部長をサポートするキャビネットとしてこの18ヶ月を過ごしてきましたが、すべての事業が無事に開催できたことを考えると、大変喜ばしいことです。これは偏に役員の方のご尽力と京都部の方のご協力があるからこそだと思います。本当に有難うございました。

次期の皆さまにしっかりと引継ぎをし、これからもますます京都部が発展することを祈念し、私の部役員としての締めくくりとさせていただきます。

本当に皆さま、有難うございました。



京都部書記 八木 悠祐
京都キャピタルワイズメンズクラブ

京都部ワイズメンズクラブメンバー・メネットの皆さま、1年間京都部の運営にご協力いただき本当に有難うございました。ようやく京都部書記としてのお役を終えることができホッとしております。

この1年間、京都部の書記というお役をさせていただき、改めて京都部のバラエティ豊富な各クラブのパワーを感じることができました。例会の持ち方や事業の進め方、メンバーシップの作り方など、本当にそれぞれのクラブが特色を持って楽しくクラブ活動をされていると感じます。それぞれ

のクラブが自分たちのアプローチの仕方、YMCAをサポートし地域奉仕活動を行い、クラブメンバーとのメンバーシップを育み、自己研鑽をされています。

昨今、多様性という言葉が耳にする機会が増えましたが、まさに多様性を持ったクラブが集まり、認め合い、ワイズメンズクラブ京都部を活性化しているのだと感じました。私は、今期お役をいただきたくさんのクラブの方々とお話しさせていただき、素晴らしい経験ができました。京都部の各クラブのメンバーがクラブを越えて交流する機会が増えれば、もっともっとワイズメンズクラブ活動の幅が広がり、人生が豊かになるのではないかと感じました。

最後になりましたが、このような機会を与えていただきました石倉部長に御礼を申し上げて退任のご挨拶とさせていただきます。1年間有難うございました。



京都部会計 香山 章治
京都キャピタルワイズメンズクラブ

第27期を振り返りまずは心配されていたコロナも令和5年5月8日には5類感染症に移行されましたが、何とかコロナ禍の影響をさほど受けず、京都部部会、ワイズデー、在京各クラブ事業がまもなく通常通り行われたという印象で、本当に良かったと思います。

京都部は、第27期石倉部長指揮のもと、会計部門においては次期準備役員会会場費を今期予算に組み込み、BF代表準備金を特別会計で予算化、そして次々期部長の選任ルールを詳細に明確化するなど要所の改善変更も試みました。第28期以降にもうまく引継ぎをし、これからも少しずつかもしれませんが、よりよい京都部の運営を目指し在京クラブと共にYMCAを支え歩いていくことを願っております。

今期京都部役員の一員として多くの事を学ばせていただきましたが、石倉部長をはじめ各役員の皆様一年間本当にお疲れ様でした。そして在京クラブの皆様、速やかな部費納入等も含め一年間大変お世話になり心より感謝申し上げます。



京都部事務局長 金原 弘明
京都キャピタルワイズメンズクラブ

とうとう京都部事務局長としての務めを終える時期となりました。何はともあれ、コロナという大敵に潰されることも無く、京都部の大きな事業に関しては、ほぼ全ての事業を無事に行うことができたことは本当に良かったことだと安堵しています。

ただ、期初にはコロナの為に部長不在の事業懇談会やZOOMで参加の部長公式訪問、事業懇談会の延期など、今思えば色々と影響を受け、苦労もさせられました。しかしながら、その都度、各クラブの会長の皆様をはじめ、多くの方々の協力により何とか乗り切ることができました。本当に感謝の気持ちで一杯です。

事務局長として数えきれない程のメールを発信しましたが、その分、新たな出会い、親睦を得ることが出来たことは私自身にとって本当に貴重な一年間でした。期初の抱負で掲げさせて頂きました京都部キャビネット、各クラブ会長の皆様との橋渡し…うまくできたかどうか不安は残りますが、何とか一年を通じてこの役割を果たすことが出来たのは、何より皆様のご協力があったからこそです。一年間、本当にありがとうございました。

第28回 京都部部会

“仲間を増やそう Make more friends”

◆ 開催日 ◆

2023年9月17日(日)

◆ 場所 ◆

ホテルオークラ京都
京都市中京区河原町御池

第28回 京都部部会実行委員会

今期を終えて 事業主査



主題 前進！ ～～ YMCA でつながる仲間と共に～～

YMCA サービス・ユース事業主査 宮崎 順巳
京都キャピタルワイズメンズクラブ

皆様、前期に引き続き、今期もYサ事業にご協力いただきまして、ありがとうございました。

クラブ会長を経験したこともなく、クラブから出たことも無い私にとっては、非常にいい経験になったと思っております。当然のことなのですが、私の所属するキャピタルクラブ以外のクラブの皆様も沢山の事業に関わっておられます。私の知らなかった事業も沢山あり、それを支える沢山のパワフルなワイズメンの皆様がいる。夜から集まって打ち合わせをし、朝早くから事業の準備をし、事業が終わってからも最後まで残って片付けをしてくださっている。クラブという枠ではなく、ワイズメンが集まり、いきいきと活動されている姿は同じワイズメンとして非常に心強く、嬉しい気持ちになりました。

一年間を振り返り、思うことは本当に皆様に支えられ続けた一年間だったということです。各事業を振り返ると事業と一緒に思い浮かぶ、お顔があります。自分だけでは気付かなかったことや気が回らなかった部分をご指摘いただいたり、先回りして片付けておいていただいたりと、自分の力だけでやりきったという事業はありません。次期からは役職もなくなり一般のメンバーに戻りますが、色々な事業に関わっていき、他クラブの皆様には負けたくないようなワイズメンになっていきたいと思えます。一年間、本当に皆様ありがとうございました。



主題 全員が一緒に前進すれば、成功は後からついてくる

地域奉仕・環境事業主査 木村 拓馬
京都トゥービーワイズメンズクラブ

この1年間はたくさんの方に支えられた1年間でした。

正直なところ、期が始まる前の準備役員会をしている頃はどこかまだ甘えのような感覚もあり、なんとかなるやろうと軽い気持ちでいました。ですが次第に焦りや緊張など様々な思いがどんどん大きくなっていきました。推薦してくれた自クラブのメンバーや承認頂いた石倉部長をはじめ京都部役員の皆さんに恥を欠かすわけにはいかない、みっともないところは見せられないと頑張らせて頂きました。そんな中焦りや緊張、ストレスとは別に責任感や達成感が少しずつ私の中で増えていくのが分かりました。普段経験できないそれは、とても新鮮で刺激があり素晴らしいもので、この先色々なことを身につけて携わっていくのがとても楽しみになりました。

今期、主査をさせて頂き一番大きな事は多くの方との交流が深まった事でした。もちろんワイズデーをはじめ数々の事業、例会への参加など記憶に残る素晴らしい経験はたくさんあります。ですが1年間を振り返ってみて一番何が良かったと考えたとき、真っ先にこれが浮かびました。自クラブの事ばかりだった私が一歩外に踏み出すだけでこんなにも多くのワイズメンと知り合い、交流できた事が本当に素晴らしい事でした。この先もし相談を受けるような事があれば『それはもう刺激的でとても素晴らしい経験ができるで！』と伝えたいと思えます。

正直、まだまだこれぐらいではこの1年の思いは伝えきれないところです。最後まで拙い文章で申し訳ありません。この1年間で経験させていただいた事は今後存分に活かしていきたいと思えます。支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。



主題 今こそ仲間の絆 出席率90%以上めざせノンドロップ

EMC事業主査 青倉 国土

京都ウイングワイズメンズクラブ

EMC事業主査を任命いただいてからの一年間は、部長公式訪問や入会式など他のクラブの例会に出席させていただく機会が多くありました。いろいろな場でEMC主査の事業方針や思いを発表したり、EMC例会でゲストスピーカーとして話をさせていただいたりしました。ワイズメンになって十数年、今までそのような経験があまりなかった私にとって、例会の進め方や事業活動のやり方、会場の雰囲気などの違いがクラブによって様々で新鮮でした。また、今期二回のエクステンションを経験させていただきました。これからも新しいメンバーが増えていく事を願います。

そんな一年間の活動の中で、私の印象に残っているのは京都部部会での挨拶です。約500名のワイズメンの前で挨拶をさせていただいたのですが、EMC事業主査として紹介いただき壇上に上がった時、明らかに自分が今とても緊張していると感じました。一瞬で頭の中から言うべき事が消えてしまい慌てた覚えがあります。この年齢でも緊張で頭が真っ白になる事があるのかと苦笑したのも、今となっては良い思い出です。

一年間貴重な経験をありがとうございました。



主題 一步前へ～コロナ禍の今、出来る交流を一步一步～

国際・交流事業主査 小林 郁佳

京都トップスワイズメンズクラブ

27期京都部国際・交流事業主査を拝命頂きました。京都トップスクラブの小林郁佳です。右も左もわからない状態から、京都部のお役を頂き、無知ですが、教えて下さい！出来る事を頑張ります～から始まった、国際・交流事業主査～

主査を受けてから国際・交流の主な事業活動は部長公式訪問から始まり、8月予定だった懇談会延期！になりましたが無事、1月に開催、2月の東西交流会での締結式が2つ！3月の使用済み切手の回収、送付、残すは6月の西日本区大会での京都ウェルクラブさん・鹿児島クラブさんとの締結式です。

元々、交流する事が大好きな自分でしたが、人前でお話しさせて頂く事が大の苦手でしたが読みながらですが人前でお話する事に少し免疫が出来たと感じています。これだけでも私自身、自信に繋がりました。

京都部国際交流懇談会では、IBC・DBC紹介は勿論！ファンドも合同で行い、各クラブさんの商品を紹介し、共有し、各クラブさんの活動の広がりにつなげれば嬉しいと思いました。しかし、タイムキーパーの不備から時間が押してしまい、ご迷惑をお掛けしてしまった事を反省と今後の課題と学習しました。

今、一年を振り返ってみると、あっという間に過ぎてしまったように思います。自分は、お役に立てただろうか？いつも自問自答しています、一つ自信を持って言える事は私なりですが、時間の許す限り交流の場へ参加させて頂いた事です。

この経験は私にとって財産！になりました。この、気持ちを次は人へお伝えしていく事が私の使命だと思っています。

お世話になりました、アジア太平洋地域STEP/iGo森田主任、西日本区国際・交流事業小田主任、西日本区の皆様、そして京都部の皆様、小林郁佳を京都部へ送ってくれた京都トップスクラブの仲間！一年間有難うございました。素晴らしい経験をさせて頂きました。感謝しか、ございません。有難うございました。



主題 ワイズの元気玉！

PR委員会 委員長 佐治 幹生

京都ウエストワイズメンズクラブ

こんにちは！京都部PR委員長の佐治です。

京都部PR委員長を、拝命頂き初めての京都部の活動も、1年が経とうとしています。1年を振り返ってみると、アツと言う間と言うのが率直な感想ではあります。

PR委員会の事業と致しましては、部長公式訪問随行・ワイズデー・HPの運営と言った事が主な内容では御座いますが、部長公式訪問随行では、他クラブのメンバーとの新たなご縁を頂いたり、久しぶりのメンバーさんとの再会で声をかけて頂いたり、そして何より、人前で話すと言う事は、伝える難しさや、起承転結を考え自身にとっても、すごく成長出来たのではないかと実感しています。

ワイズデーは、京都市役所前広場で地域奉仕主査と合同で開催させて頂きました。ワイズデーは、市役所前広場で、屋外開催になる事で、お決まりの、雨降ったらどうするの？と言う質問がありましたが、当日の予報は、雨の可能性もあったのですが、見事に天気にも恵まれて開催する事が出来てワイズの広報活動も出来ました。

HP運営は、毎月、役員会や評議会の更新をUPしていますが、これは、専任委員会があり、大変お世話になりとどころりなく出来ました。改めて、作業内容を聞くと、大変な作業で、何ひとつ不服も言わずアドバイスや、作業をして頂いた事に、感謝でいっぱいです。

そして、ワイズ100周年にちなんで、バナー広告を100件にする！と言う目標を京都部部会・部長公式訪問随行で、宣言させて頂いたのですが、ワイズメンバーの多大なる協力のもと、達成する事が出来ました。振り返ってみると、本当に、表には出ないですが、メンバー皆さんの協力があり、事業や日頃の活動が出来たので、感謝の気持ちでいっぱいです。まさしく主題にさせて頂いた、メンバー皆さんの協力で、ワイズの元気玉！になったのではないかと想います。

1年間、お世話になりありがとうございました。感謝申し上げます。



今期を終えて 各クラブ会長



主題 Reborn 2ndstage ～for the future～ これからのクラブに必要な変革を

京都WIZメンズクラブ
会長 合田 太一

私にとって2回目の会長期もついに終わりが近づいてきました。今年はコロナの影響がなくなり、やっと普通の活動を取り戻すための一年でした。やはり長く続いたコロナの影響で中々以前のように活発な活動や、集まりがまだ難しい、みんなのモチベーションが下がってしまっていることを実感しました。その中でも協力してくれるメンバーや、新しいことにチャレンジしてくれる若いメンバーもあり、なんだかんだ楽しく過ごすことが出来ました。一年を通じて京都部の会長の皆さんと親睦を深めさせていただきました、これからの新たなクラブ間交流の源にして京都部内での交流を進めていきたいと思えます。会長期も終わりますがこれからも同期会長さんやそれ以外のメンバーの方など、もっと色々な人を巻き込み、WIZの楽しさを実感し、クラブの発展に貢献出来たらいいなと思っております。皆様1年間ありがとうございました。



主題 次のステップへ・パレスを楽しもう 副題 ALL FOR ONE～皆は一人の為に、一つの目的の為に～

京都パレスWIZメンズクラブ
会長 古川 安雄

一年を振り返って、何事にも代えられない、今までの経験では比較出来るものが無い程の沢山の貴重な経験をさせて頂きました。クラブメンバーの皆様の「パレス愛に感謝」の思いでいっぱいです。コロナが収束に向かい、我々パレスの殆どの各事業がコロナ前以上に活発にそして積極的に行われました。特に、DBC交流では東京グリーンクラブとは3度、熱海クラブとは2度の交流機会がございました。IBC交流ではWIZ100周年を祝う会へ、パレスクラブの森田IGO主任と大野元西日本区理事が参加して台中エバーグリーンとマニラダウンタウンとの久しぶりの顔を突き合わせての交流を図ることが出来、互いの友情を再確認致しました。そして、リトセンオータムフェスタ、チャリティラン、WEEK 4WASTEや京都きれいやわあぁ大作戦として京都YMCA建物外周等の清掃をし、この活動を国際会長ニュースにも取り上げて頂きました。和敬学園奨学金授与、京都市動物園象の飼育費寄贈、日赤献血サポートなど盛り沢山の事業を行いました。それらを支えるファンド事業もじゃがいもファンド以外にロスチャイルド家の哲学講演やパレス帽子など様々なファンドをクラブ内外の方々にご協力を賜りました。広報事業はコロナ後の活動が活発になったこともあり毎月盛り沢山の記事掲載でした。ドライバー委員会は早目のスピーカー手配などで、大変円滑な運営でコロナ以前よりも出席率がアップしました。そして何よりも5名の新入会員をお迎えする事が出来ました。全ての活動はパレスメンバーやメネットの皆様のご協力やご理解があつての成果です。大変感謝しております。更にラオスへYMCA国際ホテル専門学校設立事業とその後のYMCAを設立させる事業もパレスから京都部内の皆様のご協力を経て、東西日本区の事業へ発展させる「有志の会」も発足致しました。京都部役員の皆様、東西日本区役員の皆様、多大なお力添えを誠に有難うございます。

私共京都パレスクラブメンバー一同は、今後もYMCAやWIZメンズクラブに大きく貢献し続けるクラブであることをお誓い致します。



主題 絆～そして一歩前へ～ 副題 Raise The sail (帆を上げろ)

京都ウエストWIZメンズクラブ
会長 澤田 長利

入会8年目にて、ウエストクラブ会長を仰せつかりました、澤田です、初めて例会に参加させていただいたときこのクラブの会長をしようと思ったことから、今期会長を務めさせていただきます

たことに感謝。ここ数年コロナで交流ができず、悶々としておりましたが、今期はコロナも収まり、活動再開の年と位置付けて、まずはバラバラになりかけのウエストをいかに距離を纏めるかが必須との思いから主題「絆」を掲げました。持論ですがクラブ運営はガラス細工のような物で、少しでも強制的になってしまうと直ぐにバラバラになってしまいます。会長という役割は非常に難しいと感じました。

元々、ウエストと言えば交流と言われるくらいに先輩たちが築き上げて下さった、歴史を重んじながら新たな物を付け加えていく、何を付け加えていくか？

それはEMC、「新入会員増強」このことこそが、ワイズメンズクラブの復活であり再生であるのではないかと思います。今期入会目標5名～8名、何とか8名達成させていただきました。これも、クラブのサポートがあつての事と思い感謝です。また今期はアジアASF主任、西日本区EMC主任、京都部PR委員長の排出があり、委員長の決定も四苦八苦しましたが、一生懸命考えて、クラブメンバーが答えていただいたこともあり、よいチームワークが出来たのではと思います。台湾のワイズ100周年、東西交流によるヘキサゴンDBCなどあり、今期は西日本区大会で国際・交流事業最優秀クラブ賞をいただき心からウエストクラブの底力を感じました。今回は新たな試みで、他クラブとの合同例会、キャピタルクラブとの合同例会が達成できたこともよかったです。当クラブIBCの台北ダウタウンのチャミングシェンアジア会長が、1月の洛中クラブとの合同例会に参加していただいたとき、西日本区田上理事までもが参加いただいたことに感動いたしました、いつもとは違う濃い新年例会をさせていただいたことに感謝いたします。ウエストクラブも新しい会員さんが増えまた、新たな一歩を踏みだす準備が出来たように思います。

今期、会長会も楽しく、またアジア世界の他クラブのワイズメンとも絆を深めることができたことに感謝申し上げます。ワイズメンズクラブ最高の年になったと思います。ウエストクラブ永遠なれ！

京都部のキャビネットの皆様1年間ありがとうございました！



主題 Walk on

副題 ～未来へのステップ～

京都めいぶるワイズメンズクラブ

会長 藤井 功輔

2年前に1度目の会長をさせて頂いた時はコロナ禍の真っ最中で、YMCAの各イベントや京都部の行事、支援先との交流や自クラブの例会など、中止、延期を余儀なくされることが多々ありました。そんな状況の中で会長としての責務を果たせないうまま、1年が過ぎ去っていったように思いますが、徐々に状況が変わり、各種行事がほぼ例年通りに開催され、とても充実した1年を過ごせたように思います。

特に思い出に残っておりますのが、今年3月のIBC会議です。私自身、IBCとの交流は初めての経験で、台湾の台中長春クラブ、韓国の仁川文鶴クラブと3クラブ合同で台湾での開催となりました。個人的に海外旅行をすることもありませんでしたので、パスポートを取り直しての参加となりましたが、初めての台湾で、初めてお会いするIBCのメンバーと交流する機会が持てたことはとても良い経験になったと感じております。ワイズメンズクラブのメンバーであるという、ただ1点で海外の方とも繋がりを持つということは大変素晴らしいことだと感じました。また、今回はメネットと3人のコメントも一緒に渡航しましたので、正直カードの請求を見るのは気が進みませんでしたが、今となっては貴重な思い出作りができてよかったと思います。

自クラブの状況を振り返りますと、コロナ禍で退会された方もいらっしゃるかもしれませんが、新しく入会頂いたメンバーもおられ、コロナ前後で大きく人数の変動はなかったものの、ワイズ歴の差で活動の中身にやや影響はあったように思います。新メンバーの方に積極的に活動に取り組んでいただくには、どのようにアプローチをしていけばよいか、考える1年でもありました。

最後になりましたが、石倉部長をはじめ、京都部役員の皆様、各クラブ会長の皆様、1年間お疲れ様でございました。これからもどうぞよろしくお祈りいたします。ありがとうございました！



主題 I'm Y's, and We're Capital Club !!

副題 ～ YMCA と共に～

京都キャピタルワイズメンズクラブ

会長 倉見 直樹

もう1年経ったのか、と振り返ると早く感じるものです。会長研修会で各クラブの会長さんと一堂に会した日を懐かしく感じます。期がスタートする前は考えていなかったコロナの感染が7月から拡がり始めました。役員会の席でキャピタルは「例会はリアルで開催します」と宣言した矢先に7月末に私を含めた数人が感染し8月第一例会を中止という判断を強いられました。会長として見通しの甘さと判断の難しさに早々に直面しました。

京都部会会のホストを務め、多くの方々の前で挨拶させて頂く貴重な機会にも恵まれました。ウエストクラブさんとの合同例会は両クラブのドライバー委員長様の尽力のおかげで次期から定期的に開催されることになり嬉しく思っております。

コロナの感染が落ち着き各事業が例年通りに開催される中、各事業委員長を筆頭にクラブメンバーが事業に参加、協力して下さりクラブの底力を確認できました。また、今期2名、次期に3名の加入が決まりメンバー数が増加に転じた1年でもありました。メンバー皆さんの協力のおかげです。本当に1年間支えて下さりありがとうございます。



主題 “誠実に事に当たる”

副題 誠意を持って他者を思いやる

京都プリンスワイズメンズクラブ

会長 西村 博

“誠実に事に当たる”“誠意を持って他者を思いやる”を会長主題に掲げ、今期40周年に向かいプリンスクラブをより素晴らしいクラブにしていくのが最大の私の仕事と捉えて一年間頑張ってきました。今プリンスクラブがしなければならないことは、メンバー増強です。会員を勧誘するにあたっては魅力あるクラブであることが最大の課題ですね。活動目標の第一に掲げてきた会員の増強は、当初の目標として最低でも5人の確保を死守する決意で取り組んだのですが、一年間私なりに精一杯メンバー獲得に心を注いだつもりでしたが現時点では残念ながら実質2人のメンバー獲得にとどまっています。様々な活動の基盤となる会員増強の大切さを今後もメンバー皆で考えていきたいと思っています。

昨年35周年記念事業として取り組んだユーススポーツフェスティバルを今期も盛大に開催することができました。この事業の重要性を十分理解してクラブとしても会員の意識啓発を続け継続事業として充実していってほしいと考えます。多くの子供たちが参加してくれて良かったのですがYMCAのスタッフとの協働事業なのでできる限り他のYMCAの事業と重ならないように時期、時間、場所等は考えていきたいと思っています。

会長として当初目標としてきた富士山部伊東クラブとのDBC締結も諸般事情により実現できませんでしたが私なりのアプローチにメンバー各位の最大限のサポートを頂いたことに深く感謝しています。

感謝。



主題 原点回帰

副題 クラブの分岐点

京都センチュリーワイズメンズクラブ

会長 駒谷 憲美

今期でセンチュリークラブは、35年間の活動に終止符を打ちます。私自身もメンバーとして21年間、そして3回目の会長をさせて頂きました。

他クラブの方とも、交流させて頂き勉強になり又、充実したワイズ人生を送らせて頂きました。今回は、メンバー6名は一度休憩させて頂くことになりました。最後にメンバー全員で西日本区大会に参加させて頂きます。

最後になりますが、ワイズメンの皆様本当に感謝申し上げます。有り難うございました。



主題 『一致団結』

副題 クラブ愛No.1チーム

京都ウイングワイズメンズクラブ

会長 松島 正雄

一年を振り返り、今一番思う事は35周年という節目の年に会長に選んで頂いたことへの感謝です。責任重大でプレッシャーのかかる一年でしたが、毎回の例会・ワークへの参加、そして35周年記念例会の開催と仲間と共に苦楽を共にできた充実した一年間でした。

今まで以上に深くメンバーと関わり、メンバーを知り、私の事も知ってもらう事から始める事で『一致団結』を目指しました。私の家での役員会やメンバーの家での委員会・メンバーのお寺での修行例会・家族揃ってのBBQ家族例会など数えきれないほどの楽しい時間を共有出来ました。本当の身内の集まりのような感じがして心温まるい一年間でした。

期首に生意気にも、会長主題を『一致団結』と掲げましたが、一年が経ち振り返るとウイングクラブは既に『一致団結』出来ているクラブだったと気づきました。何があっても皆で助け合い、メンバーやクラブがより良くなるために皆で真剣に考え続けている、まさに友愛と相互理解の溢れているクラブなのだと思います。

次の会長に私が一年間で感じ、35年間受け継がれたバトンを丁寧に渡し、クラブが一年一年と更なる成長をし続ける事を確信しておりますし願っております。

これからもワイズメンズクラブを通して仲間と共に時間を(運命)共有し、充実した人生を過ごして行けると思うと改めてウイングクラブに入会できたことを心から感謝出来ます。

ウイングクラブは～クラブ愛NO1チーム～だと実感できた一年でした。

「夢に始まり情熱で続け責任で完結する」。私が会長として出来たかどうか分かりませんが、気持ち的にはそう思える一年でした。

最後になりましたが、西日本区(京都部)の役員の皆様、本当にご苦勞様でした。

次期は武村京都部部長を筆頭にウイングメンバー全員で京都部を盛り上げていきますので、今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。



主題 『新たな道を求めて Part2』

副題 洛中の原点から……未来の洛中へ

京都洛中ワイズメンズクラブ

会長 大本 正夫

時の流れのはやさを常に感じる年齢となりましたが、会長をお受けしての一年、コロナ禍も収まりつつあって予定していた行事を無事に楽しく進めることが出来ました。特にDBCの提携先である富士五湖クラブの方々を天橋立方面へご案内出来たことや、台北大橋クラブの40周年式典には訪問出来ませんでした。お祝いのお花とメッセージを大変喜んで頂けたことが心に残っております。

5月には、養護施設つばさ園・ももの木学園の中高生20数名をボウリングに招待もさせて頂きました。いつも小学生等の対象行事が多かったので、初めての試みで喜んで頂けたと思っております。

クラブ行事として振り返りましたが、私個人としましては、会長会として他のクラブ会長の方々と集いは、年齢や社会的な立場をまったく抜きにして心底楽しめました。若い会長の方々も多く、彼らの父上が私と同年齢の方もおられましたが、ワイズ談義を含む楽しいひと時を共有できたことが最高でした。一人一人のお名前を挙げてお礼を言いたいぐらいです。プリンスの会長と私のみが70代でしたので、会長会の『いとし・こいし』と呼ばれ、いじられて楽しんでおりました。皆さんに心から感謝です。有難うございました。



主題 サステイナブルな活動を

副題 伝統を守り、楽しむ

京都エイブルワイズメンズクラブ

会長 山根 弘文

今期1年の活動報告をさせていただきます。まだコロナの影響もありまして、活発な奉仕活動は行えませんでした。それでも、野の花や、こもれびの支援を行い、なんとか地元宇治の支援は行えたかなと思っております。

正直、コロナ禍ということもあり、ワイズメンズクラブを楽しめていませんでした。しかし、私が入会して間もなくの時に合田ワイズに言われた言葉があります。

「会長やったらめっちゃくちゃ楽しくなるよ」

あともう一つ好きな言葉があります。中村ワイズがよくおっしゃってる、「楽しくなければワイズではない」

その2つの言葉を信じ、会長を受けました。

ワイズメンズクラブ、YMCAに対して真剣に見るようになり、とても好きになりました。全力で楽しみました。友達が増えました。一番大きかったのは京都クラブの周年イベントに私の友達を20名ほど招待していただいたことでした。そのことをきっかけに、2名入会してくれました。自然と仲間が集まり、あと3名の入会予定者がいる状況になりました。京都エイブルワイズメンズクラブは、人数が減り危機的な状況だと思っておりますが、難しいことはまだまだよくわかりませんが、人数を増やし、楽しいクラブにしていきたいです。

新入会員さん全員、会長を経験していただき、ワイズメンズクラブ、YMCAのことを好きになってほしいと、そう思っております。今期一年大変不慣れな会長で、ご迷惑をたくさんおかけしました。申し訳ありませんでした。でもとても楽しい1年間でした。

ありがとうございました。



主題 30周年に相応しいクラブへ成長

副題 ～メンバー100名を目指せるクラブへ～

京都グローバルワイズメンズクラブ

会長 久保田 雅彦

30周年というクラブにとって大切な節目の年の会長を仰せつかることになり、想像以上の緊張感と大きなプレッシャーを感じながら、今期のキックオフを迎えました。そしてたくさんの方々にご協力いただき、早いもので今期を終えようとしております。まずは1年間ご指導いただきました石倉京都部長をはじめ、京都部役員の皆さまに深く御礼申し上げます。

今期はコロナ禍による大きな制約を受けずに数多くの活動を行ってまいりました。中でも今期の最大のイベントは30周年記念事業『カンボジア学校建設プロジェクト』と『30周年記念例会』であったかと思います。

カンボジア学校建設プロジェクトでは今年1月に現地を訪問し、今回私達が建設しました高校校舎の開校式に参加させていただきました。校門から遠く離れた校舎まで2列に並んだ子供たちが、私達メンバーを笑顔と拍手で迎えてくれた光景は涙が溢れ出るほどの感動となりました。カンボジア王国からの記念品授与や現地メディアで取り上げられるなどカンボジアの子供達への教育に大きく貢献した事業だと自負しております。

また30周年記念例会では、多くのワイズメンにご参加いただき、盛大に開催することが出来ました。全メンバーが一丸となり素晴らしい記念例会になったかと思います。ご参加いただきました皆様にこの場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。

今期、会長を務めさせていただきましたが、新しいメンバーが多い京都グローバルクラブは今後も益々発展していくこと、またメンバー100名体制も近い将来に成し遂げられるクラブであることを確信しております。今後も微力ながらワイズメンズクラブ発展に尽力いたしますので、これからも宜しくお願い致します。



主題 〈話・和・輪〉

副題 「Start with a bow and end in a bow」

京都トップスウィズメンズクラブ

会長 田頭 邦彦

まずは、第29期トップスクラブの会長として無事に1年間過ごせたことにメンバーの皆様全員に感謝申し上げます。

コロナ禍中は各事業も中止が相次ぎましたが、この1年間は事業も復活でき、従来のYサ事業が滞りなく開催できましたことは良かったかと思われまます。また、自クラブの地域奉仕事業として新しく「京都市岡崎動物園サポート事業」を支援先である京都市聖嬰会の子供達を招待し開催できたことは素晴らしい活動ではなかったかと感じます。また、「大阪茨木クラブ」とのDBC締結式を東西交流会の場で行えたことも嬉しく感じました。ノンドロップ会員を掲げスタートしたもののメンバー退会者が出たのは残念ではありましたが、新たに6名の入会者があったことはクラブにとっても新しい風が吹き良かったと思います。私も過去にブリテン委員長をやりましたが従来とは違った記事の内容やインパクトある表紙には驚かされましたし華々しかったです。メンバー数の多い中、毎例会ごとの運営を難なくこなしていただきましたドライバー委員のメンバーにも感謝いたします。そして、突然の次々期京都部部長排出につきまして、快くまた京都部や自クラブのことを考え引受けて頂いた山下ワイズにはクラブ代表として敬意と感謝の気持ちで一杯です。

今となれば会長をやって本当に良かった！この一言に尽きます！この1年間で様々な経験をさせていただきました。各事業への参加（初めて参加する事業も多数ありました）、他クラブメンバーとの交流（他クラブや部会への参加）多くの方々と親しくさせていただきました。お金では決して買えない何か大切なものを手にさせていただきました。希望と現実とは少しかけ離れてはしまいましたが、コロナ禍も治まりつつの中での例会を中心とした各事業が滞りなく終わることができ安堵しています。これも一重に、各事業委員長の頑張りと共に私をサポート頂いた三役のお陰だと痛感しております。活発な各委員会での討論は役員会を通じてひしひしと伝わるものがありました。真面目に前向きに取り組んでいただき、ありがとうございました。クラブ会長として何をしたか何ができたか何を残せたか…ですが、クラブ会長を経験させていただいたことには間違いはなく、今後も更に飛躍していくクラブに対し少しでも力添えになればと思います。来年は30周年に京都部部長排出にと忙しくなっていますが、クラブ全体が大きく変革できるチャンスでもあり今以上にメンバー一丸となりメンバー一人一人が心満たされる、そんな日が過ごせればと祈願いたします。最後になりましたが、皆さんとの出会いに感懐です！ありがとうございました！！



主題 Go! ToBe Go!

副題 ～今、未来への一歩～

京都トゥービーワイズメンズクラブ

会長 新谷 嘉啓

今期は25周年の節目の年、忙しい期になるなあ…と感じていましたが…。

ブラッククラブのチャーターから始まり、沖縄クラブのチャーター（孫新風クラブのチャーター）、古田元理事が実行委員長の東西日本区交流会、木村京都部主査の関わるワイズデー、チャリティーボウリング大会、そして我々の25周年記念例会と100人規模のイベントが目白押しでした。

それに加え月2回の例会、CSの府立医大子供サポート、支援先のひまわり園での掃除ワーク、Yサのリトセンワーク、チャリランに車いす駆伝…、よくメンバー全員、頑張ってくれました。

しかも、どの事業もTOBEらしさを存分に発揮し、評価を頂き、大変満足のいく事業ばかりでした。

そんなに多くないメンバーの中、各実行委員会を掛け持ちするのはざらで、複数の委員会が同時進行となる事も多く、連日の委員会は皆さんの負担も大きく、またご家族の協力なしでは出来なかったと思います。感謝しかありません。

そして今期2名（期末には3名に）の新入会員を迎え入れられたことは大変嬉しく思っています。

上半期の時も触れましたが、会長として先頭を切って導く力が無い私には、三役を筆頭に各委員長の皆さんに頼りっぱなしで、メンバーと共に創り上げていく事が精いっぱいでした。

会長らしい仕事を何も出来ないまま今に至るって感じですが、沢山の方と関わり、共に時間を過ごせたことが大きな財産となりました。皆さん一年間ありがとうございました。



主題 健康あつての奉仕活動
副題 20周年へ向けての意識改革

京都東稜ワイズメンズクラブ

会長 延近 昌彦

今期は色々な意味で大変忙しくさせて頂きあつという間に過ぎていくという感覚になり、ワイズ活動も仕事の上でも非常に充実した1年となりました。

今期は周年例会のクラブ様が多かったのですが、全ての周年例会に出席させて頂きました。私自身ワイズ歴は11年になろうかと思いますが、今まで1年の間にこれほど多くの周年例会に参加させて頂いた事はなかったので様々な形で各クラブ様が周年例会を実施されており大変刺激を頂きました。全ての周年例会を拝見し感じた事は実施されたクラブのメンバー様が皆さん楽しんでおられる姿に感銘を受けましたと共に、私共東稜クラブも次期に20周年を迎えるにあたり参考にさせて頂こうと思えました。

さて、今期のクラブとして最も印象に残った事業は奥村直前会長から引き継ぎましたZEROクラブ様との交流になろうかと思えます。合同例会には私の体調不良で参加できず申し訳ありませんでしたが、合同のクリーン活動を一緒にできた事を大変うれしく思っております。これは会長でありワイズの一員であったからこそその交流ができていた事に大変感謝しております。前期から企画頂きました奥村直前会長やZEROクラブ澤井直前会長、快く受けて頂きました石飛会長、ZEROクラブのメンバーの皆様、東稜クラブのメンバーの皆様の協力があつてこそその成果だと思えます。ご尽力頂き有難う御座いました。東稜クラブは来期に20周年の年となります。東稜クラブらしい周年例会を企画し実行するため微力ながら栢本次期会長を支えらると共に、今後もワイズ活動を楽しんでいきたいと思えます。今後とも宜しくお願い致します。



主題 Step to the Future
副題 ～新しい出会いと感動を求めて～

京都ウェルワイズメンズクラブ

会長 奥村 治

「Step to the future」(未来への一歩)を会長主題に副題として「～新しい出会いと感動を求めて～」を掲げてスタートしました。あつと言う間の1年でした。期前に危惧していたコロナ禍もスタート直前に落ち着きを取り戻し普段通りに、自由に立ち振る舞いながら笑顔で活動できた事に感謝しています。また、今期はコロナ禍とコロナ終息への間の期であることを認識しながら再開に向けてのウォーミングアップ期と捉えていました。来期はやっと全てを全うし集中出来る活動期となりそうです。同時にコロナ惨禍の終息後に起こる社会変化は人々の意識を含め大きな革命をもたらすことになるだろうと多くの思想家、歴史学者が語られております。どのような変化になろうとも私たちが出来る課題を一つずつ取り組み努めていく事が重要であると思っております。

さて今期は会員増強を一番の目標としました。その結果、8月に3名の新会員を迎えることが出来、早々に元気を頂きながらのスタート、更に2月に1名の入会式を行い今期4名の新メンバーが誕生しました。私自身、メンバーが増える事の喜びと、新環境に馴染んで貰う為に必要なことなど責任感も伴いましたが、それぞれが自らのペースでクラブライフを楽しんでいる姿を拝見し安堵感に包まれています。新メンバーの皆様、今後色々な環境をご一緒に、クラブ活動を楽しんで参りましょう。

また、この1年間、石倉部長をはじめキャビネットの皆様、各クラブ会長の皆様方とワンチームとして携われた事は、私の貴重な財産です。その中で特に感じ得たことは、クラブ活動の継続はメンバー1人1人が主役であること。夢や希望を語り有意義な例会を作り出すこと。笑顔は人を幸せにするパワーを持っている事。そのエネルギーの根源は同じ方向性を志す『仲間』がいる事だと感じる事が出来ました。いつもでもこの気持ちを忘れることなく抱き続けて行きたいと思えます。

最後にウェルメンバーはじめ各クラブのメンバーの皆様、この1年間未熟な私にいつも励ましの御言葉を頂き、最後迄お付き合いを頂きましたこと、並びに会長職を満喫させて頂きましたこと心から御礼申し上げます。そして何より未来へ繋ぐ新たな出会いとその感動に触れられたことに感謝申し上げます。



主題 「地固めの一年に」

京都ZEROワイズメンズクラブ

会長 石飛 智憲

あつという間の一年になるであろうと想像していましたが、あつという間の一年でした。

会長としてのこの一年を振り返ってですが、例会も一度も欠席することなく行いました。

YMCAのワークも積極的に参加し、クラブ独自の地域奉仕のイベントも真夏の暑いなか朝から夕方まで行いました。ファンド事業も予算達成までやれましたし、他クラブとの交流も積極的に取り組みました。

しかしながら達成感とか充実感というものがほとんどありません。いわゆる燃え尽き症候群みたいなものでもありません。こんなことを言うとその1年間を共に過ごしてくれた三役や各委員長やクラブのメンバーには失礼だと承知していますが、これが本音です。これを書いているのが西日本区大会の前でまだ引継例会も終わっていないからかもしれないですが、今現在の私の率直な感想です。ただ、無駄な時間を過ごしたとは思っていません。会長をしていなければ出会えなかった人も少なくなく、知っていたけどもより深くその人のことが理解できたことも多々あり“今後ワイズメンズクラブとどのように関わっていくか”というテーマが今の時点の自分としてはありますが考えがまとまったように思います。これからの将来もここ3年間をコロナ禍で過ごしたように否応なしに環境を変えられる事があるかとは思いますが、自分で選択できるものは自分で決断して進んでいきたいと思っています。それでは一年間誠にありがとうございました。

私と携わっていただいた全てのワイズメンに心より感謝申し上げます。



主題 Fresh start

副題 ～さあ、もう一度出発しよう～

北京都フロンティアワイズメンズクラブ

会長 白井 達也

北京都フロンティアクラブがチャーターされてから早、七期目が終わろうとしております。

今期の活動としましては、例会の出席率の上昇を第一の目標に掲げて1年間三役とともに会を盛り上げていこうと話し合い活動をして参りました。

コロナ感染症への会員の意識も三年目を迎えて徐々に緩和されてきた事ともう一度ワイズの活動を楽しもうとする会員全体の意識変化のおかげで昨年より出席率が上昇した事は小さな一歩かもしれませんが、来年につながる礎が出来たと自負しております。

また、今年で3回目を迎え、舞鶴市の全ての学童野球チームに参加頂いた、YMCA杯学童野球大会も大盛況の元無事に開催できたことは、北京都フロンティアクラブにとって大いに自信になる行事だったと思います。

この大会を、舞鶴市だけではなく、ゆくゆくは京都全体での大会にできるような組織づくりも今後行っていけたらと考えております。

EMC事業に関しましては、年々減っていた会員ですが、第6期は1名、今期も1名、来期は2名の会員が入ってくれることが確定しております。

これも、会員の満足度が高い事が会員の拡大に繋がっていると思っています。来期は、丸山新会長の元さらにメンバー一同が一体となり、各事業に邁進してくれるとおもいます。

私自身も直前会長として、京都部、北京都フロンティアクラブ、舞鶴YMCA国際福祉専門学校を精いっぱいサポート致します。

会長主題にあります Fresh start～さあ、もう一度出発しよう～ の元、メンバーと一緒にできた一年は有意義な一年でした。

この一年誠にありがとうございました。



主題 Lead To Black

京都ブラックワイズメンズクラブ

会長 木代 路万

今期チャーターをして、手探りで6カ月が経ちました。チャーターメンバーの9割がワイズメンズクラブのようなクラブに参加したことがなく、少しずつですがメンバーも例会の進め方などわ

かってきた感じです。

トゥービークラブからキーメンバーとして2名が参加していますが、せっかく新しいクラブを作ったので、基本的なこと以外はメンバーでアイデアを出しあって例会を開催しています。次期においては、ワイズデーの参加、Yサ事業の参加などを考えています。

初めて西日本区大会にブラッククラブからは6名参加させて頂き、2日間楽しく西日本区のクラブと交流でき是非、名古屋開催の西日本区大会にはたくさんのメンバーで参加したいと思います。

まだまだ未熟なクラブではありますが、ワイズ活動をメンバーの全員が楽しんで参加出来るクラブにしていきたいと思っています。

あとメンバー増強し力強いクラブを目指します。



主題 ワイズの活動を楽しむ！

副題 ～ワイズの絆の再構築～

沖縄クラブ

会長 手登根 正

2023年1月チャーターナイトを開催させていただき、京都部に入らせていただきましたこと、京都部役員の皆様をはじめ、クラブ創設に向けてスタートからお力添えいただきましたこと、京都

トゥービーワイズメンズクラブの皆様には、厚く御礼申し上げます。

振り返りますと、2007年11月7日に東日本区におきまして「沖縄ワイズメンズクラブ」としてチャーターを致しましたが、当時所属しておりました湘南・沖縄部では、神奈川地区との距離もあることで、諸活動に深くかかわることができずにおりました。そのなかで、京都トゥービーワイズメンズクラブとの兄弟クラブとしての活動が始まり、当方から、沖縄の地理的な位置を考えると、本来あるべき西日本区での活動をするのができないものかと考えて、相談をさせていただきましたところ、ご理解をいただきころよく、その対応を引き受けてくださいました。

その後、コロナ禍の影響を受け、例会開催がままならず意思疎通の機会が減り、クラブ創設が暗礁に乗り上げそうになりましたことや、西日本区定款のご変更をいただき、概ね3年をかけ再スタートとなりましたが、改めて、ワイズメンズクラブの一員としてスタートラインに立てましたことを、一同で喜んでおります。次年度も京都部におきまして、皆さまと共に、ワイズダム前進に、少しでもお役にたてればと考えております。

また、沖縄での活動を本格的に再スタートさせていただき、全国でも経済的に厳しい環境の中で成長する子供が多い沖縄ならではの地域奉仕をさせていただきます。合わせまして、今後は、沖縄YMCAとの連携再構築を模索しながら、沖縄YMCAの支援を進めてまいります。



主題 沖縄から新しい風を

沖縄新風（みーかじ）クラブ

会長 金武 朝成

5月にチャーターを受けたばかりの新しいクラブで、次期まで会長が続投という形となります。丸々1年という任期を大切に、沖縄の青少年健全育成、社会福祉とともに、構成するワイズメンをより良く導いていければと思っております。近年、沖縄では親クラブである沖縄ワイズメンズクラブとも、沖縄YMCAとの関わりが無く、ワイズメンズクラブとしての活動は片手落ちとなってしまっていました。今回、沖縄新風クラブの発足に当たり、沖縄YMCAとの縁をつなぐことが出来ました。その縁を強固なものとするのは、沖縄新風クラブであると心に誓い、活動を進めていきたいと思えます。

私自身、企業に向けてのメンタルヘルスの仕事を生業としているため、より良い社会づくりへ向けて日々活動しております。若い世代をのびのびと育てても、受け皿たる企業であり、社会が若い力を受け止める器を持たなければ、青少年健全育成を掲げたとして、その後に繋がるものは無いものと言えるでしょう。そのため、今働いている方々が輝きを増して、働いていけるように、ワイズメンズクラブのメンバーの力を借りて、社会への働き掛けもしていきたいと思えます。

まだ、新しく立ち上がった弱弱しいクラブではありますが、理想を共有して、新しい風を吹かせてみたいと思えます。



第26期 京都部決算書

収入の部

単位:円

科 目	25期決算額	26期予算額	26期決算額	備 考
部費	865,300	1,666,000	1,672,800	前期490人+後期494人(連絡主事免除)×1,700円
部活動援助金1	100,000	100,000	100,000	西日本区から部一律
部活動援助金2	100,600	99,200	99,200	区よりメンバー1人当たり200円×496人(特別枠6名含む)
献金	0	0	0	
利息	15	0	15	
単年度収入小計	1,065,915	1,865,200	1,872,015	
前期繰越金	2,395,579	2,730,009	2,730,009	
西日本区支援金	38,500	50,000	300,000	ワイズデー支援金
合 計	3,499,994	4,645,209	4,902,024	

支出の部

単位:円

科 目	25期決算額	26期予算額	26期決算額	備 考
主査・三役活動費	120,000	120,000	120,000	主査・PR委員長活動費20,000円×6事業
部事業費	221,284	588,000	797,764	
会議費	85,006	100,000	76,300	会議会場費
印刷費	152,515	155,000	166,650	部報・会議資料等
部会補助費	0	507,000	511,000	1,000円×511人(連絡主事を含む)
研修費	39,933	285,000	71,000	研修会登録費(10月、3月)
通信費	74,577	90,000	99,261	郵便・電話・部ホームページ・ZOOM維持費
交通費補助費	0	10,000	0	
事務費	65,670	15,000	2,970	
慶弔費	11,000	20,000	0	
公式ビジター受入費	0	20,000	0	
単年度支出小計	769,985	1,910,000	1,844,945	
次期繰越金	2,730,009	2,854,900	3,057,079	
合 計	3,499,994	4,764,900	4,902,024	

特別会計・収入の部

単位:円

科 目	25期決算額	26期予算額	26期決算額	備 考
前期繰越金	331,526	491,526	491,526	
クラブ支援金	160,000	300,000	120,000	GSS:85,000円・YC:35,000円
一般会計より振替	0	0	0	
合 計	491,526	791,526	611,526	

特別会計・支出の部

単位:円

科 目	25期決算額	26期予算額	26期決算額	備 考
GSS支援金	0	300,000	0	
YC支援金	0	0	0	
予備費	0	0	0	STEP等
次期繰越	491,526	491,526	611,526	
合 計	491,526	791,526	611,526	

以上の通り、ご報告致します。

第26期京都部会計

小野 敏明



上記報告書に基づき監査したところ、適正に処理されていたことをご報告致します。

第26期京都部監事

島田 博司



第26期京都部決算書(支出明細)

2021.07.01~2022.06.30

単位:円

科目	細目	25期決算額	26期予算額	26期決算額	備考
主査活動費	Yサ・ユース	20,000	20,000	20,000	
	EMC	20,000	20,000	20,000	
	地域奉仕・環境	20,000	20,000	20,000	
	国際・交流	20,000	20,000	20,000	各事業・三役活動・運営費等
	メネット	20,000	20,000	20,000	
	PR委員長	20,000	20,000	20,000	
三役活動費		0	0	0	
小計		120,000	120,000	120,000	
部事業費	YYYフォーラム	20,000	50,000	0	西日本区より補助分
	CSチャリティーボウリング	40,000	40,000	40,000	
	事業懇談会・委員会	6,000	48,000	51,464	5事業3000円×2回+PR3000円×6回
	ワイズデー事業	0	300,000	600,000	
	合同メネット会関連	0	50,000	50,000	
	PR委員会(広報事業)	66,000	60,000	42,000	
	事業PR費	38,500	20,000	0	
	予備費	50,784	20,000	14,300	西日本区映像作成費
小計		221,284	588,000	797,764	
会議費	評議会・役員会	85,006	100,000	76,300	ウイングス京都、教室使用料
印刷費	部報	99,000	100,000	88,000	印刷1報+ホームページ2報3報
	会議資料	53,515	55,000	78,650	評議会・役員会・三役会資料作成
小計		152,515	155,000	166,650	
部会補助費	京都部部会補助	0	507,000	511,000	1,000円×511名(連絡主事含む)
研修費	部長	0	19,000	22,000	10月次期役員研修会、3月次期会長主査研修会
	次期部長	18,933	38,000	22,000	10月次期役員研修会、3月次期会長主査研修会
	次期主査	18,000	114,000	15,000	3月次期会長主査研修会(3,000円×5事業)
	次期三役	3,000	114,000	12,000	3月・3,000円×4名
	資料代	0	0	0	
小計		39,933	285,000	71,000	
通信費	郵便・振込手数料等	44,404	50,000	42,688	評議会等資料事前郵送の為等
	部・ホームページ関係	30,173	40,000	56,573	部HP30,173円・ZOOM使用料26,400円
小計		74,577	90,000	99,261	
交通費補助費	西日本区事業主任交通費	0	10,000	0	
事務費	事務備品	65,670	15,000	2,970	
慶弔費		11,000	20,000	0	
公式ビジター受入費		0	20,000	0	
支出合計		769,985	1,910,000	1,844,945	

特別会計・支出の部

単位:円

科目	細目	25期決算額	26期予算額	26期決算額	備考
GSS支援金		0	300,000	0	
YC支援金		0	0	0	
予備費		0	0	0	STEP等
次期繰越		491,526	491,526	611,526	
合計		491,526	791,526	611,526	